

質問事項	記述式回答
賃金の上昇及び設備投資の促進に必要な取組について	
1 好調な企業収益や雇用環境の改善に比べ、賃金の上昇が緩やかになっている要因、また、今後、賃金がさらに上昇していくために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。	これまで企業はバブル経済の崩壊、アジア危機、リーマンショックなど数多くの激しい経済変動を経験してきた。その一方、持続的成長を実現し、企業価値の増大に取り組まねば、企業はグローバルな競争に打ち勝つことは難しい。現在の緩やかな景気拡大には、こうした厳しい経営環境における企業の継続的な取り組みが現れていると考える。こうした観点で考えると、一部に最高益を記録する企業もあるが、(中堅・中小企業を含めて)全体として見た場合の企業の体力、競争力は必ずしも十分な状態にないと考えられる。今の成長の果実を、まずは次の更なる成長や、強靱な経営体制構築に用いる場合が多いと推察する。したがって、この点に関しては、政府の取り組みというよりも、個々の企業の経営判断の問題と考える。ただ、すでに(人手不足の影響などもあり)従業員への分配を優先する企業も出てきている。長期的な景気拡大の中で、従業員への配分を高める企業が増えることを期待している。
2 好調な企業収益に比べ設備投資に力強さが欠けている要因、また、今後、設備投資(機械設備、構築物、研究開発等)を一層促すために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。	現在でも各企業の状況に応じて適切な設備投資が行われているが、企業のニーズに応じた誘導策が具体的に提示されることによって、必要な投資を顕在化させる効果があると考え。例えば、一般的に維持・補修・更新等の投資には従来の経験が活用できるが、IoT、AIなどの未知の技術について、業務上実用に耐え得るレベルになったという以上の情報を有している企業は多くない。こうした企業に、好事例を積極的に共有していくことで、投資へのモチベーションを高める効果が期待できる。また別の例となるが、現代の企業にとって、サイバーセキュリティへの投資が必須となっているが、具体的なソリューションや、どの程度の投資をすればよいかという点は必ずしも明確ではない。詳細なガイドラインを提示することによって、専門人材が不足しがちな中堅・中小企業だけでなく、大企業においても投資の際の参考になると考える。